

# まんま JA 北新潟

HAPPY  
New Year  
今年をよろしく  
お願いいたします

1月  
号  
2026  
Vol.23  
JA北新潟



JA北新潟は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

## Contents

新年のご挨拶	2
北新潟News	4
あなたもチャレンジ!家庭菜園	7
mannaの台所	10
コミュニティmanna	12
ぐらり北新潟	14

新しい年もみんなで  
新しい食と農を通じ  
笑顔を未来へ



北新潟うんめん鍋



北新潟ワク2025「Yummy鍋会」今年の鍋は「北新潟うんめん鍋」

# 新年のごあいさつ



北新潟農業協同組合  
経営管理委員会会長

齊藤松郎

の適正価格の形成に係る理解醸成を同時に進めてまいりたいと考えております。

組合員の皆さま、地域の皆さま、明けましておめでとうございます。  
謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は、  
地域農業の振興へのご理解とJA北新潟グループの事業を  
ご利用いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の夏は、猛暑渴水により心配のつきない日が続  
きました。8月にようやく恵みの雨が降り、安堵したところ  
であります。令和7年産米は、農家の皆さまのご努力によ  
り、一等米比率85パーセントを超える結果となりました。  
またJAに多くの米を出荷、いたいたことに感謝を申し上  
げます。

異常気象による自然災害、高齢化や人口減少を発端とする  
担い手不足、そして耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く  
課題は尽きません。国際情勢の不安定化に伴う資材価格の  
高騰は、今も農業経営に大きな影響を与えております。  
私たちJAは、これからも地域農業の発展に向けた政策支  
援を求めていくとともに、食料安全保障の重要性や農畜産物

私たちJAは、自己改革に掲げる「農業者の所得増大」「農  
業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの柱のもと、持続可  
能な農業の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。  
そして、地域社会との連携、組合員や地域住民の皆さまとの  
対話を重視しながら、「地域に信頼されるJA」を目指して  
まいります。

今年の午年は、馬のように情熱的で行動力があり、華やか  
な存在感を持つ年と言われています。また、馬は古くから農  
業や輸送に不可欠な動物であり、「健康」や「豊作」と深く関  
わるとされています。  
駆け抜ける馬のように、1年がとどまることなく、明るい  
未来へ進む年になりますよう、お祈り申し上げ、新年のごあ  
いさつといたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます



## 経営管理委員

### 会長

神林地区（神林地区代表）

胎内地区（胎内地区代表）

豊浦・佐々木地区

荒川地区（岩船地区代表）

神林地区

五十公野・松浦地区（北越後地区代表）

紫雲寺地区

村上地区

担い手・組織幹（北越後地区）

朝日地区

山北地区

女性幹（胎内地区）

関川地区

女性幹（岩船地区）

川東地区

胎内地区

菅原芳男

菅原一男

渋谷芳男

（株）ライフサポート北新潟  
常務取締役

板垣誠

平田博子

渡辺良夫

佐藤研悦

高崎康也

村田孝平

渡邊あけみ

森田研悦

櫻井哲栄

川上哲栄

鈴木茂孝

嶋津和文

鈴木昭雄

鈴木昭雄

山田哲也

山田哲也

鈴木佐登志

鈴木佐登志

齋藤松郎

齋藤松郎

阿部元広

阿部元広

鈴木均

鈴木均

加藤定男

加藤定男

山田哲也

山田哲也

佐藤茂孝

佐藤茂孝

和文哲栄

和文哲栄

嶋津哲栄

嶋津哲栄

鈴木哲栄

鈴木哲栄

近田俊幸

近田俊幸

津村智美

津村智美

高橋昌利

高橋昌利

相馬絢子

相馬絢子

磯部浩好

磯部浩好

赤坂浩一

赤坂浩一

田中俊夫

田中俊夫

石井寛史

石井寛史

佐藤康成

佐藤康成

陸勝一郎

陸勝一郎

佐藤潤一郎

佐藤潤一郎

神代聰子

神代聰子

菅原昌勝

## 片山食品株とコラボで管内産カボチャPR

新発田市内の漬物製造業社である片山食品(株)が企画したInstagramのキャンペーンで、当JA産の冬至用カボチャが景品として使用されました。

11月27日に出荷時期を迎え、JAの栽培・販売担当が同社へ手渡しました。冬至需要に合わせた抑制栽培のカボチャの品種はホクホクした食感で、色抜けが少なくツヤのある深緑色をしています。サクッと切れるので通常のカボチャに比べ調理しやすいことが特長です。

同社の小森課長は「今後も女性向けにSNSにレシピ掲載をしていくので、キャンペーン景品に地元の野菜を使っていきたい」と話しました。



カボチャを受け取る小森課長(右)

## 気軽に集える「地域の茶の間」

地域住民たち誰もが気軽に集え、生きがいや健康づくりなどを目的に各地で開かれている地域の茶の間。胎内市の築地地区、新発田市の赤谷地区では、さまざまな活動の他に昼食を共にしながら楽しいひと時を過ごしています。

築地地区では、月に1度地域の茶の間「ついじさわやかハウス」が開かれて、午前中はレクリエーションなどを楽しめます。

昼食は、女性部胎内地区の部員でもあるスタッフ3人が、自分たちで栽培した野菜をはじめ、地元の農産物とお米を使用し、作ります。スタッフは「おいしく食べてくれるのがうれしい。張り合いになる」と話していました。

赤谷地区的地域の茶の間は年7回開催され、毎回、地域の約30人が楽しみに訪れます。地域のボランティアスタッフ8人で運営し、昼食も作ります。

活動は、地域の人が健康で暮らせるようにと保健師を招いての血圧測定や、寒暖差に気をつけた体調管理の講話など、毎回内容に工夫を凝らしています。



JA共済

の

地域貢献

活動

農業のために

地域のために

明日のために



赤谷のお茶の間では、地域のボランティアスタッフが昼食を作ります

共乾施設セルフメンテナンス研修  
技能向上コースを初開催

JA全農にいがたと新潟県CE(カントリーエレベーター)協議会は安全作業による事故防止や、メンテナンス費圧縮を目的とした「共乾施設セルフメンテナンス研修技能向上コース」を胎内地区にあるJA施設で共同開催し、県内4JAから24人が参加しました。

研修は日常のメンテナンスについてヤンマーリーンシステム(株)と株山川機設が講師を務め、搬送設備の調整・部品交換や、緩んだチェーンの調整方法、ベルトコンベアや昇降機の蛇行調整などについて学びました。

研修に参加した中条第2CE担当の須藤颯大さんは「自分のスキル向上につながる良い知識を学ぶことができた。同様の研修があれば、率先して参加したい」と学びの手応えを話しました。



実地研修を行う参加者

ぐるりと管内のニュースをお届けします



## 北新潟 News

原木しいたけ「おいしい!」  
神納小3年生が特産の収穫体験4 質の高い教育を  
みんなに

村上市立神納小学校の3年生27人が、地区の特産「原木しいたけ」を栽培する「いそべ農場」を訪れ収穫を体験し、しいたけのアヒージョも試食して改めて素材のおいしさを味わいました。

地元の特産を学ぶ授業で、同農場の協力のもとJAの食農教育の一環として毎年行っています。児童らは7月にも農場を訪れ、原木しいたけの特徴や栽培方法を学びました。

収穫体験では、収穫の仕方を教わって1人2個ずつ収穫。アヒージョの試食では「おいしい」「しいたけ嫌いだけどうまい」と児童たちは口々に感嘆していました。

農場長の磯部正貴さんは「機械が使えないところが大変だが、手がかかる分、愛着が持てるので安心して消費者に届けられる」と話しました。



みんな口々に「おいしい」とほおばっていました

稲穂からごはんになるまでを実演  
みのり保育園で食農教育

みのり保育園で、JAの食育担当者が実際の稲穂を使って脱穀、粒すりなどを実演し園児たちに粒の状態からごはんとして食べるお米になるまでの過程を紹介しました。

鈴木龍輔指導員が稲穂から割りばしで粒を取り、「粒の殻はこの部屋にある堅いガラスと同じ成分でできている」と紹介。粒をすり鉢に入れ野球の軟式ボールを使って粒すりし、園児たちも粒すりに挑戦しました。

玄米、精米をカルトン皿に載せ色の違いも比較。園児たちは興味津々の様子で覗き込んでいました。

この日、園児たちは「シャカシャカおにぎりづくり」にも挑戦しました。

最優秀賞に小野武広さん  
畜産部会(岩船地区)枝肉共励会

JA北新潟畜産部会(岩船地区)は、同部会の枝肉共励会の表彰式を朝日宮農センターで開きました。共励会の最優秀賞は小野武広さんが受賞しました。

共励会には24頭が出品され、格付け5等級22頭、4等級2頭と、4等級以上が認定される村上牛の認定率は100%、5等級率は92%と好成績でした。

キロ当たりの平均単価は2707円、枝肉重量は571キロ。最優秀賞の牛は、単価3742円と、かつてないほどの高値が付き、枝肉重量も661キロと出品牛の中では最重量でした。

この日は「畜魂祭」も行われ、出荷された牛の御靈を供養しました。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り(敬称略)。

△優秀賞=高橋利明、漆間平

△優良賞=山賀治彦、漆間平、遠山幸一



最優秀賞を受賞した小野さん



あなたもチャレンジ!

# 家庭菜園

## シュンギクのトンネル栽培

品種の使い分けに留意



シュンギクの生育適温は15~20度と冷涼な気候を好み、一般には春(3~5月)と秋(9~11月)が栽培適期ですが、早春まきのトンネル栽培では春から初夏の収穫を楽しめます。

**[品種]** シュンギクの種類は、葉の大きさや切り込みの入り方により実用品種では中葉種と大葉種に大別されます。中葉種は切り込みがあり、香りが強く、摘み取り栽培に適した節間の伸びやすい品種(株立ち型)では、「さとゆたか」(サカタのタネ)、「きわめ中葉春菊」(タキイ種苗)などがあります。抜き取り栽培に適した側枝の発生の多い品種(株張り型)では、「さとにしき」(サカタのタネ)、「菊次郎」(タキイ種苗)などがあります。

大葉種は葉が大きく厚みがあり、切り込みは浅く、苦さが少ない品種で、「菊之助」(タキイ種苗)、「おたふく春菊」(中原採種場)などがあります。

**[畑の準備]** 種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、深く耕しておきます。

1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)100gと完熟堆肥1.2kgを散布して土と混ぜ、ベッド幅70~80cmとし、高さ5cm程度の平畝を作ります。

**[種まき]** 条間20cm、深さ1cm程度の浅いまき溝を3条作り、約1cm間隔で種まきします(図1)。好光性種子のため、覆土はごく薄くかけます。種まき後、十分に灌水(かんすい)し、発芽まで乾燥させないように注意します。種まき後にトンネル被覆して、中に幼苗を保護するための不織布をべたがけすると良いでしょう。

**[トンネル被覆と換気]** 中間地や暖地の2、3月ごろはまだ夜温は低いですが、昼間のトンネル内は高くなるため、本葉1、2枚の頃から換気を開始します。フィルムの裾を開閉する方法、フィルムに穴を開ける方法、穴開きフィルムを使う方法があります(図2)。生育後半にトンネル内の茎葉が繁茂する頃にはトンネルを除きます。

**[間引き・追肥]** 発芽後、本葉2枚の頃3、4cm間隔に間引き、株元に軽く土寄せします。この後、本葉5、6枚の頃に、株立ち型で10~15cm、株張り型で10cm間隔に間引き、1平方m当たり化成肥料50gを株元にばらまき、土寄せします。

**[収穫]** 中葉種の株立ち型は、草丈が25~30cm程度になったら、葉4、5枚を残し、摘み取り収穫します。以後、伸びてきた脇芽の葉を2、3枚残して切り取ります(図3)。中葉種の株張り型と大葉種では、草丈が20~25cm程度に育ってきたら、株ごと抜き取り、または株元から刈り取って収穫します(図4)。なお、このトンネル栽培では晩春になると長日・高温の気象条件からとう立ち・開花が早くなり、長い期間の収穫はできません。

図1 種まき

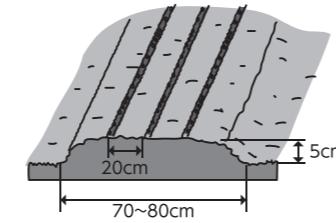


図2 トンネル被覆(穴開きフィルム)

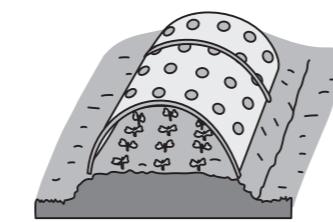


図3 摘み取り収穫

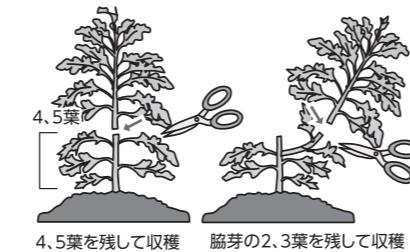
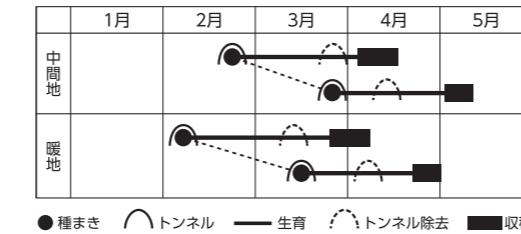


図4 抜き取り収穫  
(中葉種の株張り型と大葉種)



栽培カレンダー(シュンギクのトンネル栽培)



2025.11.27

## JA 営農指導員活動発表 営農販売部山田薰係長 最優秀賞受賞 全国大会へ

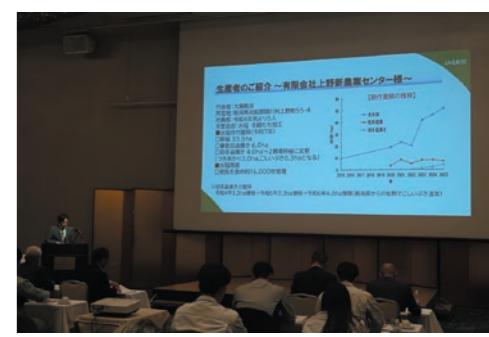
JA 営農指導員活動実績発表大会がANAクラウンプラザホテル新潟を会場に開かれ、JA 営農販売部経営支援課の山田薰係長が最優秀賞を受賞しました。

同大会はJA 営農指導員が取り組んだ地域農業における課題と解決について発表するもので、JA 営農指導員の資質向上を図ることを目的としています。

「農閑期を活用した水稻初冬直播栽培技術の導入」と題し、農閑期に水稻初冬直播を行することで、春の繁忙期の農作業時間削減を目的とし、検証を進めました。

作業時間が移植栽培と比較し減少する結果を得られ、反収も目標とする数量を達成することができました。

山田係長は「成功事例に至った結果は、取組生産者である(有)上野新農業センターの発想力と推進力がなければ不可能だった。大島毅彦代表取締役に良い報告が出来た事をうれしく思う。今後も地域農業の稲作基盤を守るために、熱意を持ってJA 営農指導に励みたい」と今後の活動の抱負を述べました。



北越後地区

2025.12.14

## 長年のファンに支えられ最終営業 佐々木ふれあい市

新発田市の佐々木地区で平成3年から続けられてきた「佐々木ふれあい市」は12月14日で営業を終了しました。当日は開店前から大勢のお客さまが訪れ、市終了を惜しむ声や出荷者との思い出話を楽しむ姿が多数見られました。

開店当時から通っていたお客さまは、「ふれあい市は新鮮な野菜を買えるだけでなく、おいしい食べ方なども教えてもらえて毎週来るのが楽しみだった。子供の食育の場としても利用させてもらいたい貴重な場所だった」と心あたたまるエピソードも。

ふれあい市代表の加藤タカ子さんは「たくさんのお客さまに支えてもらなながら、ここまでみんなで続けることが出来た。お客さまとふれあうことが出来てうれしかった」と話しました。

「また会いましょうね」「元気でいてね」とたくさんのファンに惜しまれながら最後の営業を終了しました。

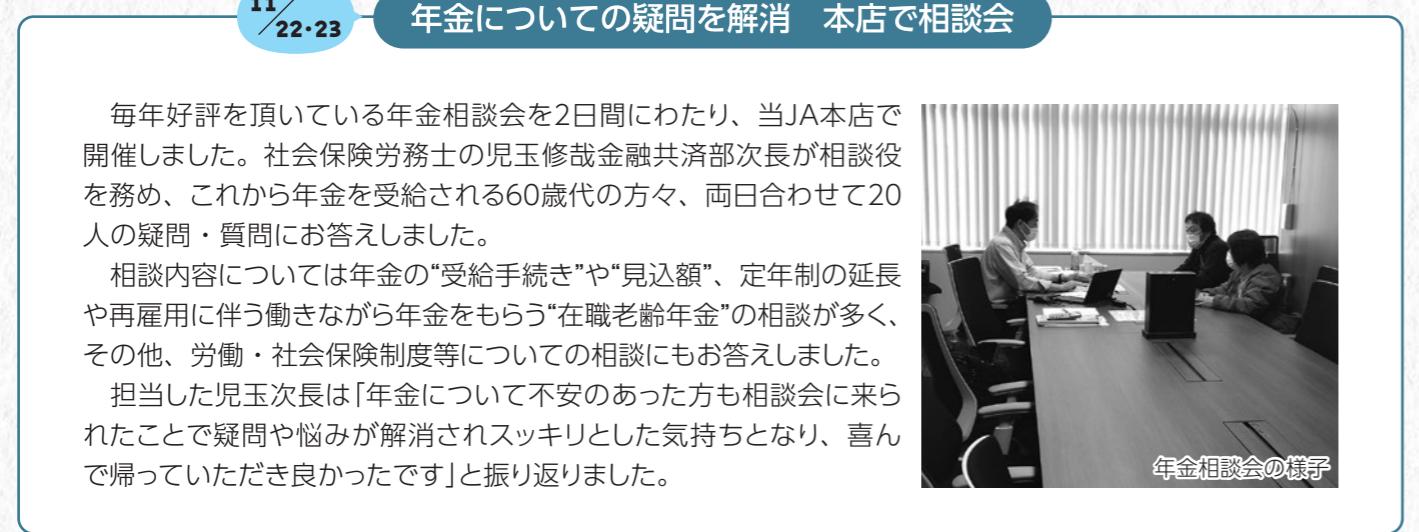
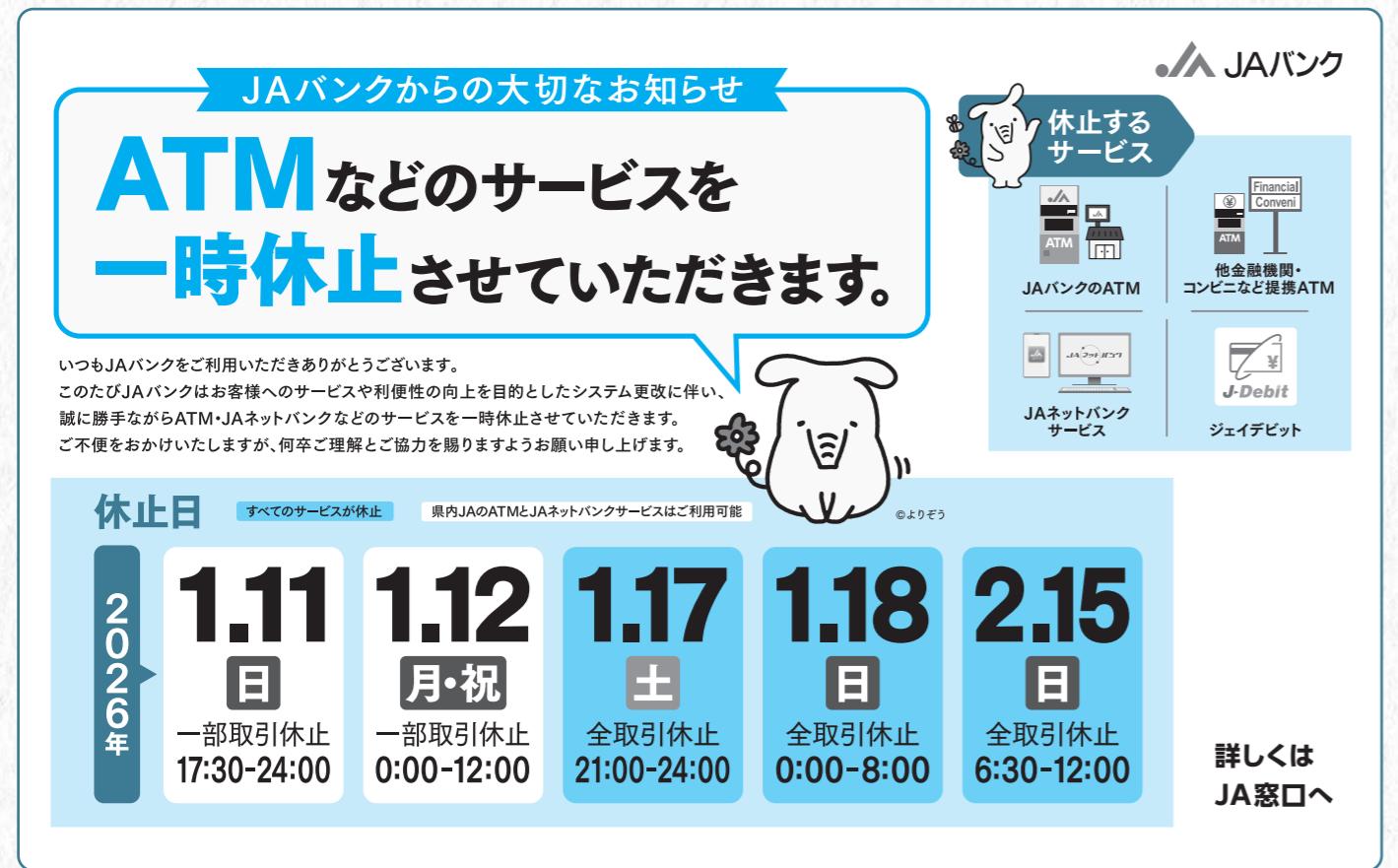


佐々木ふれあい市のみなさん

## お誕生日ご来店プレゼント

限 定 特 典  
JA北新潟  
年金受給者 様

12月・1月 生まれの当JA年金受給者様は、ぜひ「年金振込通帳」をご持参の上、最寄りの支店までご来店をいただき、お声掛けください。「お誕生日プレゼント」を準備して、スタッフ一同皆様のお越しをお待ちしております。





## あつまれ！ 女性部・青壮年部



Instagram やってます!  
@kitanigataseisounenjyoseibu  
#ja北新潟



### スパイスカレー作りで婚活

北新潟青壮年部(北越後地区)は11月15日、新発田市イクネスキッキンスタジオで婚活イベントを開催し男女12人が参加しました。「農業男子と婚活 Cooking」と題して「食」と「農」をテーマに一緒にスパイスカレーを作り交流を図りました。パイオニアパークやサツマイモやタマネギ、新米コシヒカリなど地場産食材を使用。参加者はレシピを見ながら作業分担し調理を行いました。最後に味見をして、スパイスの量を調整しカレーを仕上げました。市内から参加した女性は「カレー作りと一緒にすることで、会話が自然と弾み男女問わず交流ができる楽しかった」と話していました。



本格スパイスカレーが完成♡



### 先進地視察研修

青壮年部菅谷支部は11月17日、先進地視察研修会を開催し部員7人が関川村の(有)上野新農業センターを訪問しました。2022年から実施している水稻初冬直播きの取組みについて説明を受け、機械による早生品種「つきあかり」の播種の実演を見学しました。部員は「今後、春作業の軽減を図るために検討していかなければならない技術であり、前向きに検討したい」と期待を込めました。

### 4地区合同昼食会で交流

北新潟女性部は11月18日、ANAクラウンプラザホテル新潟で合同昼食会を行い部員185人が参加しました。パイオニアパーク、やわ肌ネギなど北新潟の農畜産物を食材としたメニューを堪能。昼食会後は、新潟テルサで毎年恒例の仲間づくりの集い企画が開催され、石原良純講演会やタケカワユキヒデコンサートを楽しみました。



管内特産品の  
パイオニアパークを  
使用した料理



昼食会では、  
抽選会も行われました

## 第40回新潟県JA共済小・中学生交通安全ポスター конкурール

今年度のコンクールには新潟県内の小・中学校93校から396点の応募がありました。  
JA北新潟管内の入賞者を紹介いたします。



新発田市立東豊小学校1年生



岡田 莉和さん



新発田市立猿橋小学校5年生



太田 日香さん



新発田市立加治川小学校6年生



円山 修平さん



新発田市立川東小学校6年生



小野塚 羽那さん



太田日香さん作品

円山修平さん作品

小野塚羽那さん作品

### 岡田莉和さんから喜びのコメント

おうぼした理由は、みんなに交通安全を守ってほしいと思ったからです。

しっかり手を上げているようですが、よく分かるようにかきました。うまくかけたので入賞するじしんがありました。

入賞の連絡があったとき、とてもうれしい気持ちになりました。おかあさんとおとうさんときょうだいから「すごいね」と言われました。

これからも交通安全のルールを守っていきたいと思います。



※入賞4名の作品は、後日 本店1階ロビーに展示させていただきます。

## 12月13日開催 『大Yummy鍋』で女性部が作り来場者にふるまいました！

### 今月の一皿

#### 豆腐よせ



豆腐よせは崩した豆腐を固めた村上地域で年中行事やお祭りなどの「ハレの日」に作られる郷土料理です。甘じょっぱい味とツルンとした喉ごしは昔懐かしい風味です。型に入れた後、刻んだクルミなどを加えるのもオススメです！



#### 材料 (15cm四方の重箱1つ分)

・粉末寒天 (または棒寒天1本)	10g
・木綿豆腐	400g
・しょうゆ	40cc
・砂糖	180~200g
・水	400cc

#### 作り方

- ① 豆腐は茹でてザルにあげ水分を切り、粗めに崩しておく。
- ② 鍋に水を入れ、粉末寒天と砂糖を混ぜ合わせたものを加え火にかけろ。沸騰したら2分程度よくかき混ぜ、溶けたら、しょうゆを加える。
- ③ ②に崩しておいた豆腐を入れ混ぜる。少し煮てから火を止め、粗熱をとり型に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ 食べやすい大きさに切り分けて出来上がり。



読者の声

なんて羨ましい限りです。  
(50代 胎内市)

ドラマ「ロイヤルファミリー」という競馬のドラマにハマっています。新潟競馬場に昔家族で行ったことを思い出しました。馬って筋肉質でかっこいいですよね。  
(20代 胎内市)

昭和の初期、馬は自室を貰い我が家の一員でした。過酷な稻作作業に従事し家族を支えてくれました。  
(80代 聖籠町)

昔、馬車に乗った時、馬が私と娘(午年うまれ)の方ばかり見て、目をパチクリ、パチクリさせて、なかなか進まなかった事があり、午年って解ったのかな?と。  
(70代 関川村)

もう還暦を迎えたが、来年は午年なので馬のように力強く突っ走って行きたいです。  
(60代 胎内市)

年を重ねた母、このところ身体のアチコチにガタがきていますが、新年は年女。ハネていただきたいし、ハネに付き合いたいです。  
(50代 新発田市)

今年は60年に1度の丙午の年。自分の1学年上の皆さんのが丙午の年に当たったため、その反動で子どもの数が多くなって受験が大変、と言われましたが、令和のお母

さま方は出産に関してそんなことを気にするのか、ちょっと興味があります。  
(50代 胎内市)

毎号楽しみにしています。表紙の若い方、活気があつていいです!  
馬といえば、昔は家に何頭もいてお世話をしたのを覚えています。優しい目をしていて、私が行くと喜んでくれました。私が小学生の頃の事です。  
(70代 村上市)

かみはやし支店の収穫祭と胎内支店の収穫祭に今年も参加しました。今年も賑やかでワンコイン弁当すごく美味しかったです。来年も楽しみにします。  
(50代 村上市)

母が子どもの頃は家に農耕馬がいたそうで、そのお世話をしていたので、馬に愛着がありテレビの競馬中継が大好きな人でした。私はよく3,000円だけ持って競馬場へ行き、母に習った通りにチビチビと馬券を買い、ご飯も食べて1日遊びますが、帰りにはいつも持ち金が増えていました。母の馬を見る目は確かでした。  
(70代 胎内市)

12月号の表紙は意表をつく生産者のパフォーマンスに目がパチクリ。なかなかの傑作でした。色々とご苦労されて今があるのですね。これからもおいしい野菜の収穫に頑張って下さい。お2人の笑顔はすばらしかったです。  
(60代 胎内市)

今月のテーマは「馬」です。

野菜を趣味の範囲で栽培していますが、今年は失敗が多かったです。連作障害等の記事が大変参考になりました。  
(70代 新発田市)

馬での思い出は25歳くらいのとき初めて買ったダービーの馬券が200円で2,700円(だったかな)になったことくらいでしょうか。最初で最後の競馬の投票でしたが、競馬を見るのは好きで見てます。

今月号で生産組合百笑のお二人が楽しそうにお仕事をされているのが印象的で、応援したいと思いました。  
(60代 新発田市)

佐藤智香子先生のブロックリーレシピ美味しいそうなので作ってみます。ブロックリーレシピは湯がいてマヨネーズで食べるか、シチューに入れるかしかレシピが無く困っていました。  
(60代 新発田市)

表紙の2人の男性の、おちゃらけ具合が非常に良い感じ?! 同年代で農業が出来る

現在小4の次男が、動画の影響で麻雀にハマっています。家に麻雀牌はあるのですが、どうしても自分が欲しかったらしく、クリスマスプレゼントの前倒しということで、妻にねだって牌と麻雀マットのセットを買ってきました。結果、まだルールを覚えてきていらない長男と妻をメンツに加えて、時々家族麻雀をしています。

読者の声  
来月のテーマは『バレンタイン』です。バレンタインにまつわる思い出やエピソードなどを教えてください!



## 直売所通信



# 本年もよろしく お願いします



胎内の旬の味覚を  
元気いっぱい  
お届けします(^^)/



今年も美味しい地場産品と笑顔を  
「こったま」お届けします♪



岩船・かみはやし地区の美味しい地場産品(お  
活気あふれるよれっしゃ・こいっちゃんへどうぞ!)



食べよう北新潟産  
**J A 北新潟直売所カレンダー**  
各直売所のイベント情報掲載中!  
ぜひご覧ください♪



### 「こったま~や収穫祭」でも 地場産ワンコイン弁当販売!



先月号で胎内、岩船地域で販売した  
『地場産ワンコイン弁当』についてご紹  
介しましたが、11月23日に開催された  
『こったま~や収穫祭』でも旬の地場産  
品を使用した特製お弁当を販売しま  
した。3回目となる今回は2種類のお弁当  
を用意しました。

地元の素材を使ったお弁当は買いや  
すい価格だったこともあり、お客様にも  
好評ですぐに完売となりました。

## manma!北新潟

JA北新潟

2026年1月発行

広報誌

1 月号

北新潟農業協同組合  
〒957-0011 新潟県新発田市島潟1184-1  
編集:企画総務部組織広報課  
TEL 0254-26-2600 FAX 0254-22-4979  
HP <https://ja-kitaniigata.or.jp/>



HP

耕そう、大地と地域のみらい。

J A 北新潟